

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：1月第4週目）

- 1 世界銀行が2025年のジンバブエ経済成長率を6.2%と予測
- 2 2024年第4四半期の投資ライセンス発行数が前期比19%増加、投資予定額は減少

1 世界銀行が2025年のジンバブエ経済成長率を6.2%と予測

世界銀行の最新の年次世界経済見通し報告書によると、ジンバブエの国内総生産（GDP）は、2025年に6.2%、2026年に4.8%拡大すると予想されており、それぞれサハラ以南アフリカ諸国の平均である4.1%と4.3%を上回る。なお、ジンバブエ政府は2025年の成長率を6%と予測しており、世界銀行の予測とほぼ一致している。しかし、世界銀行は、ジンバブエのようなコモディティ輸出国は、中国などの主要市場での経済減速による鉱物等の需要減少から悪影響を受けるリスクがあると警告している。（18日付ヘラルド紙1面）

2 国内新規投資ライセンス発行数が前四半期比19%増加、投資予定額は減少

ジンバブエ投資開発庁（ZIDA）は、2024年第4四半期に200件の新規投資ライセンスを発行し、前四半期と比較して19.04%の増加を示した。ZIDAは2024年の四半期報告書で、この成長はライセンス発行プロセスの改善、特に2024年2月に開設されたオンラインDIYライセンス発行ポータルへの導入によるものだと述べた。DIYポータルは開設以来、全申請の98.1%を処理している。ただし、投資額は2023年の同時期と比較して60.1%減少した。この減少は、2023年にいくつかの高額プロジェクトが含まれたことが主な原因である。州間比較では、ハラレ市が、製造、建設、不動産、サービスなどの分野でライセンス発行数が最多だった。投資計画額では、マショナランド・セントラル州が総額の46.4%を占めて最高額だった。不動産部門は投資計画額が20億米ドルで全体の43.6%を占め、エネルギー部門がそれに続く10億430万米ドルで全体の22.8%を占めた。（22日付ヘラルド紙ビジネス1面）